

伊豆半島の地殻変動*

Crustal Deformations in the Izu Peninsula

建設省国土地理院
Geographical Survey Institute

第1～3図は、伊豆半島における最近(1994年6月)の水準測量の結果である。熱海～河津間の結果(第1図)をみると伊東市付近(水準点48-003-000付近)で最大3cmの隆起がみられた。内浦～伊東験潮所(中伊豆経由)間の結果(第2図)では、前回6cm強の隆起を示した大室山西方において、今回は上下変動がほとんど認められず、中伊豆町付近で2cm程度の隆起がみられた。伊東市(水準点48-003-000)～中伊豆町間の結果(第3図)では、中伊豆町付近で約1cmの隆起がみられた。

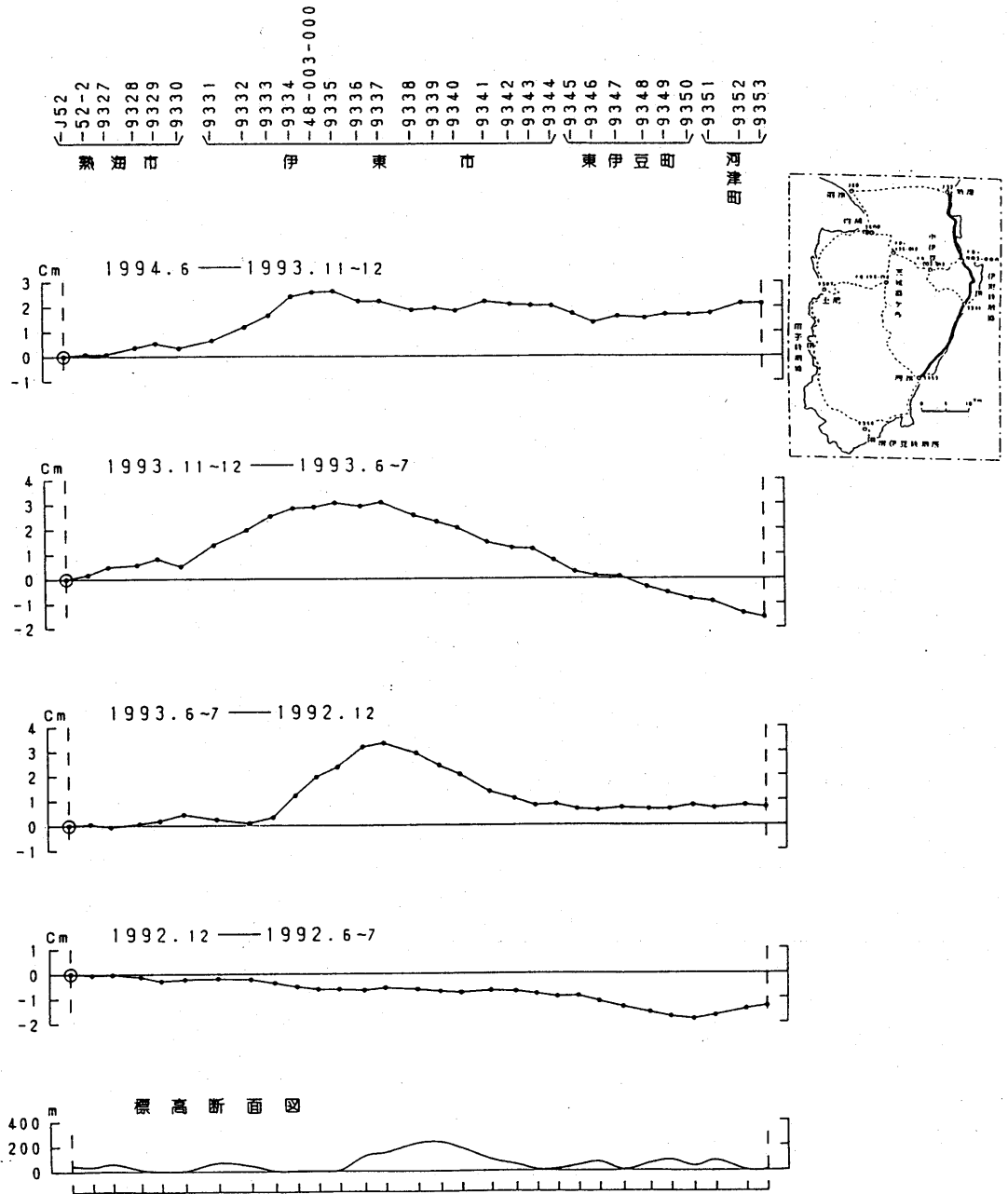
第4, 5図は、伊豆半島の上下変動図である。1993年5, 6月の群発地震後、伊東市西方で最大6cm弱の隆起がみられる(第5図)。この結果に基づき、圧力源の位置を推定すると伊東市西方の地下9～10km付近に求まる。

第6～7図は、初島～伊東(GPS)、小室山～宇佐美(EDM)による連続辺長測量および伊東地区のGPS連続観測の結果(辺長及び比高)である。1993年5, 6月の群発地震後、9月頃から初島～伊東、初島～宇佐美などで、辺長の縮み傾向、小室山～宇佐美、冷川峠～宇佐美などで、伸び傾向がみとめられたが、その傾向は、昨年末から鈍化し、最近では停止している。また、比高についても、最近では変動がほぼ停止している。

第8～12図は、伊豆地方及びその周辺地域の各験潮場間の月平均、日平均潮位差である。油壺験潮場に対する伊東及び初島験潮場の隆起傾向は最近鈍化している(第8図)。日平均潮位差においても同様の傾向が認められる(第10～12図)。ただし、伊豆地方各験潮場間の月平均潮位差においては、伊東験潮場の隆起傾向が引き続き認められる(第9図)。

* Received 20 Dec., 1994

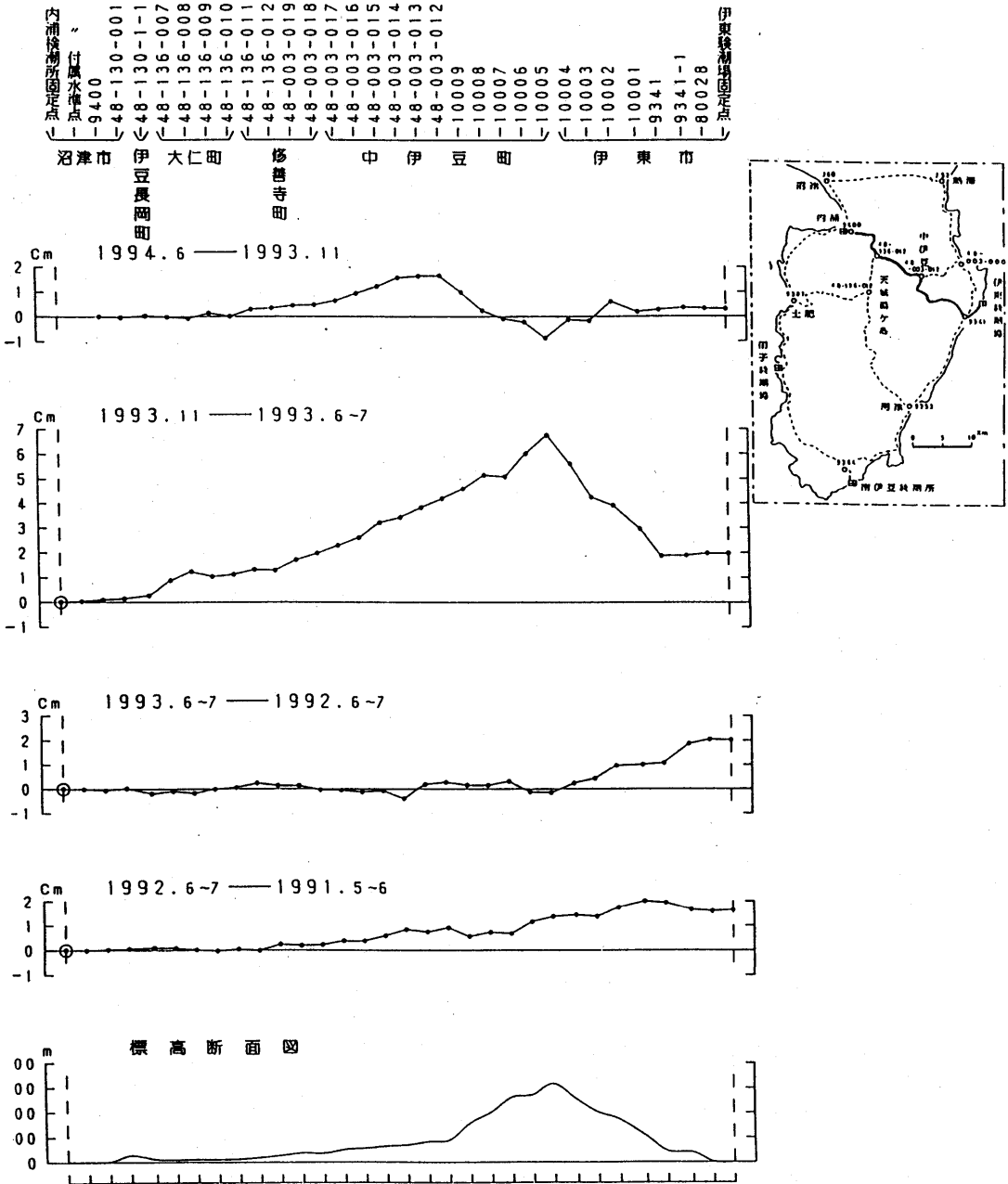
熱海～伊東～河津間の上下変動



第 1 図 熱海～伊東～河津間の上下変動

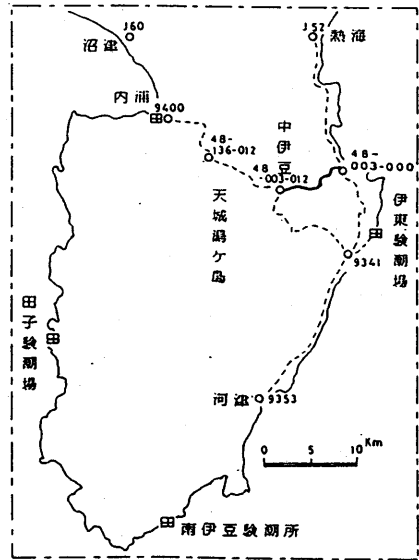
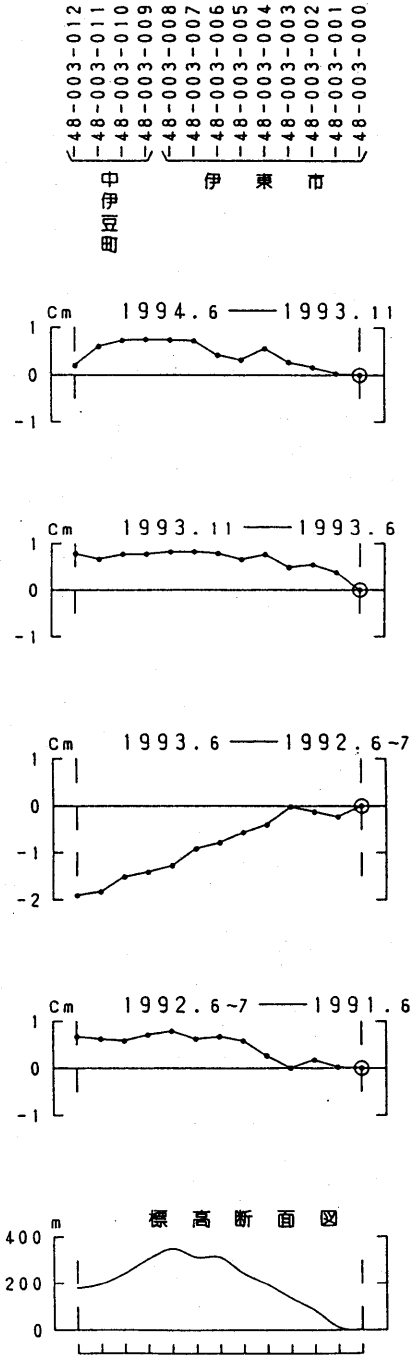
Fig. 1 Level changes along the route from Atami to Kawazu, via Ito (1).

内浦～中伊豆～伊東間の上下変動



第 2 図 内浦～中伊豆～伊東間の上下変動
 Fig. 2 Level changes along the route from Uchiura to Nakaizu, via Ito.

中伊豆～伊東間の上下変動

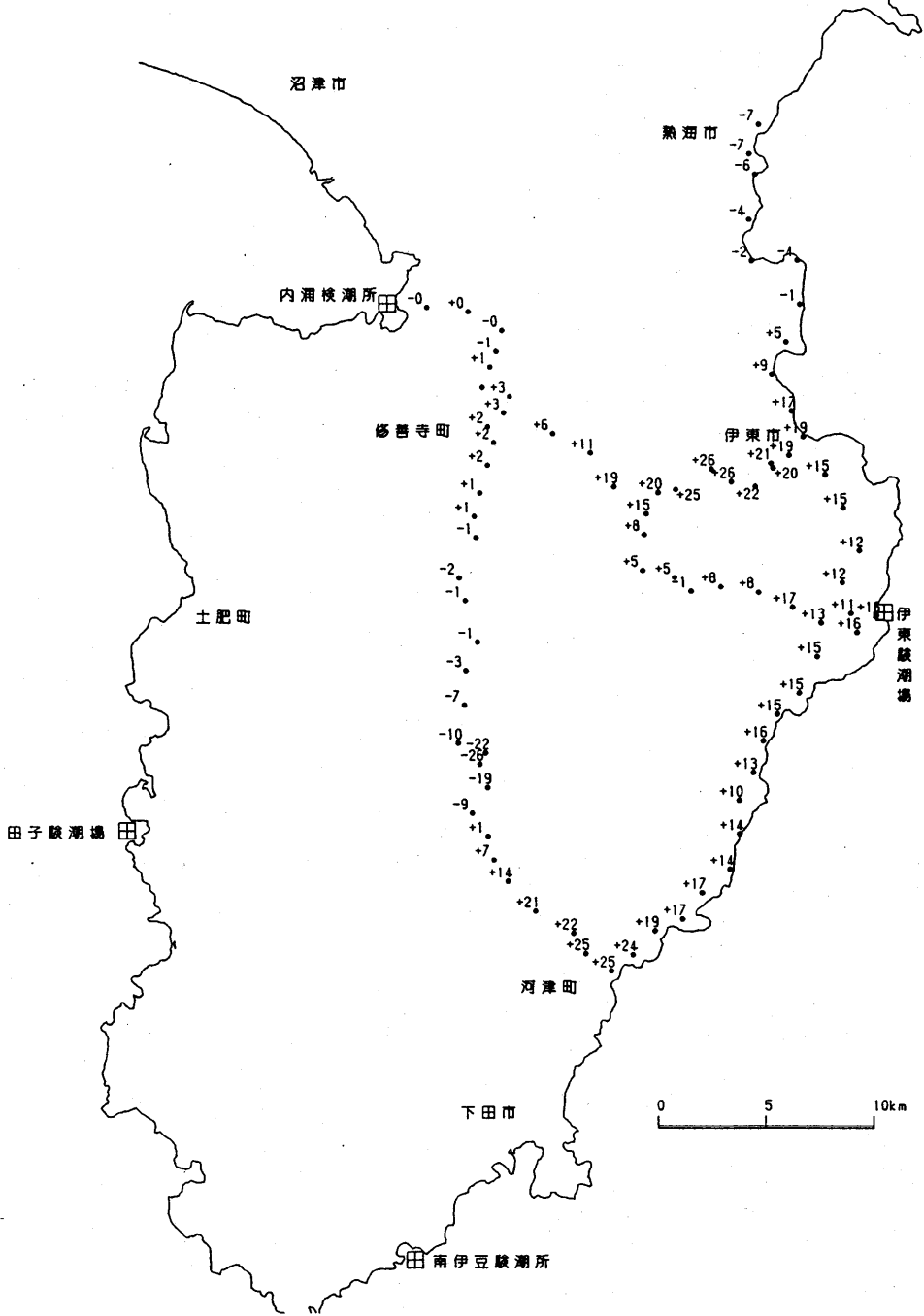


第 3 図 中伊豆～伊東間の上下変動
 Fig. 3 Level changes along the route from Nakaizu to Ito.

伊豆半島の上下変動(1)

1994.6 - 1993.11 - '94.2

基準 : 9400 (内淵)
単位 : mm

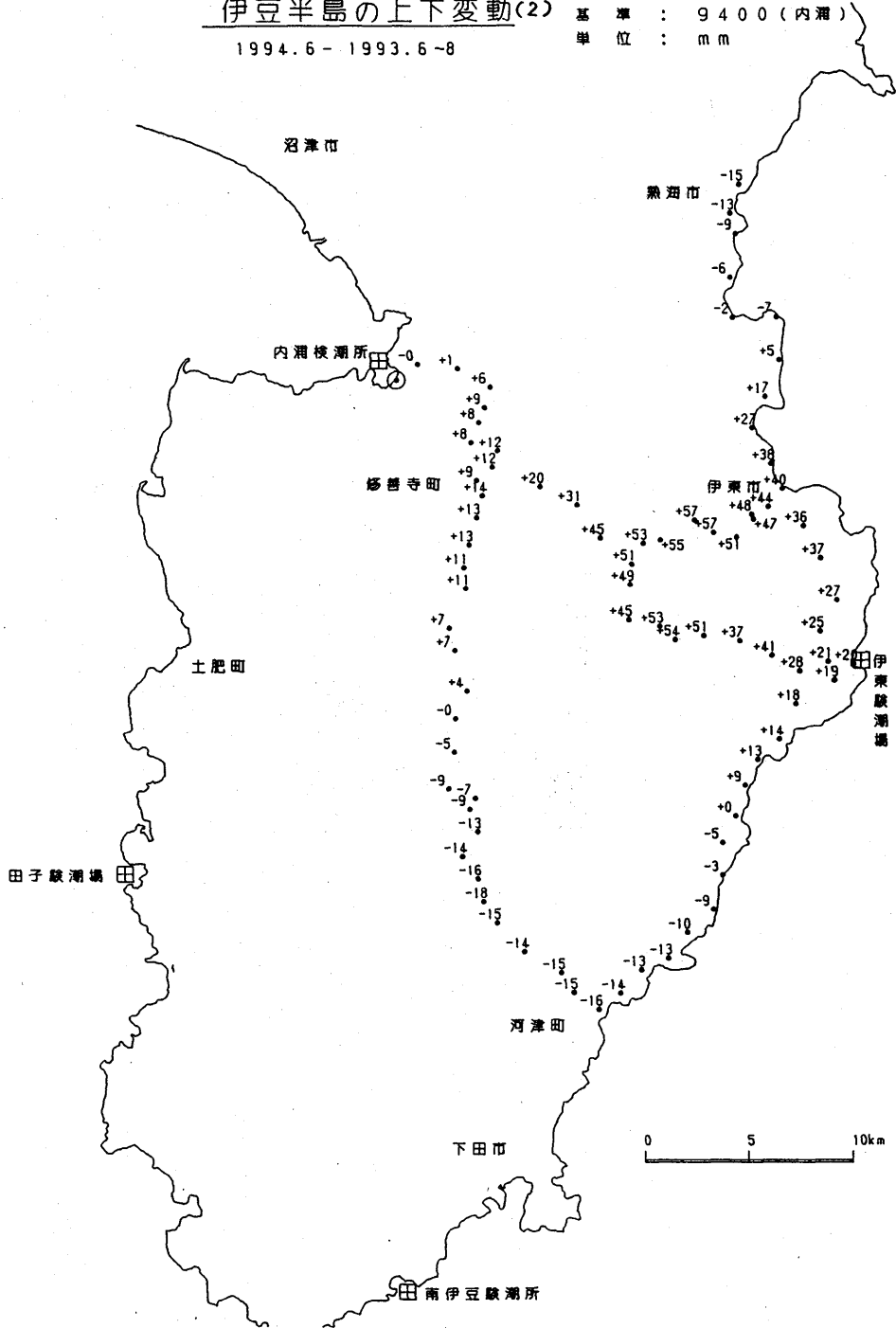


第 4 図 伊豆半島の上下変動 1994.6 ~ 1993.11 - '94.2
Fig. 4 Vertical crustal movement in the Izu Peninsula

伊豆半島の上下変動(2)

1994.6 - 1993.6 - 8

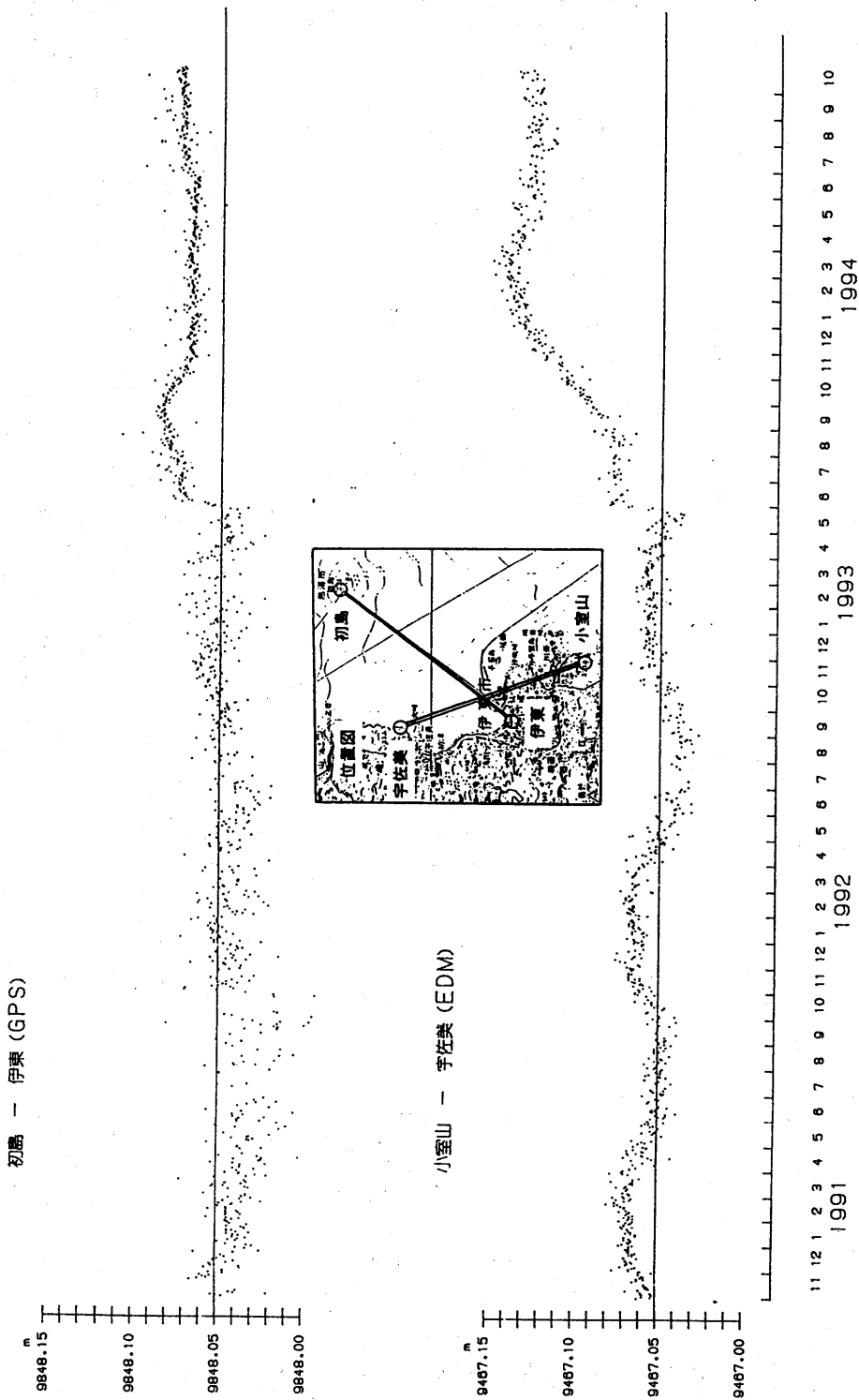
基準 : 9400 (内瀬)
単位 : mm



第 5 図 伊豆半島の上下変動 1994.6 ~ 1993.6 - 8

Fig. 5 Vertical crustal movement in the Izu Peninsula

伊東東部連続観測(辺長)日平均結果

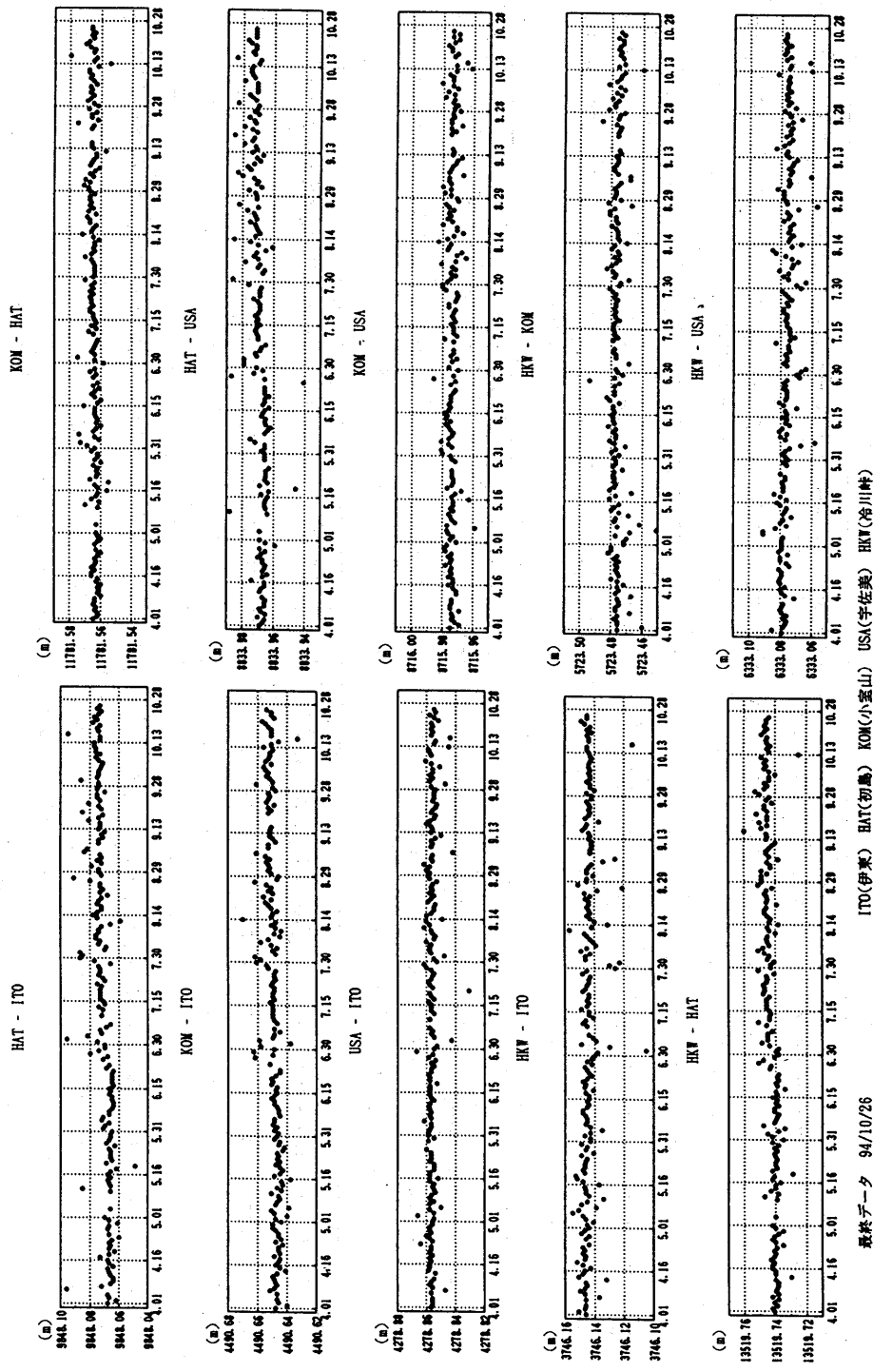


第 6 図 GPS, 光波測距儀による伊東市周辺の距離連続観測結果 (日平均)

Fig. 6 Continuous distance change observation with GPS and EDM around Ito City (daily mean).

伊東地区GPS観測結果(辺長)

国土地理院

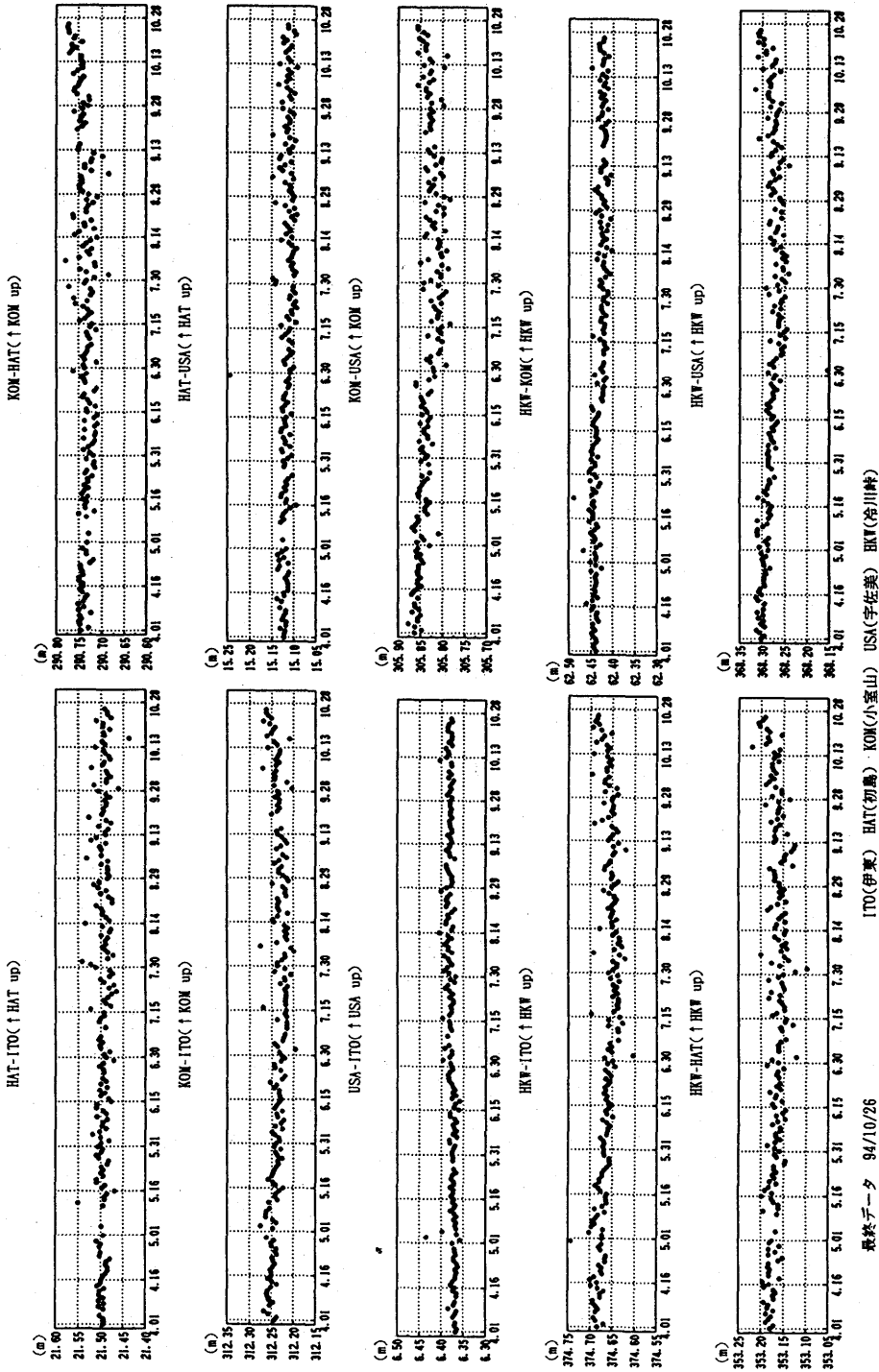


最終データ 94/10/26

第7図-1 伊東地区GPS観測結果(辺長)
Fig. 7-1 Continuous distance change observation with GPS around Ito City.

伊東地区GPS観測結果(比高)

国土地理院



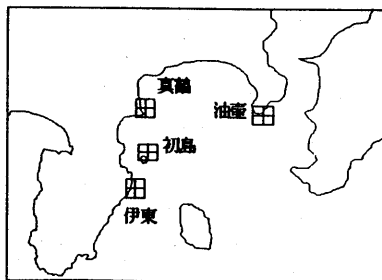
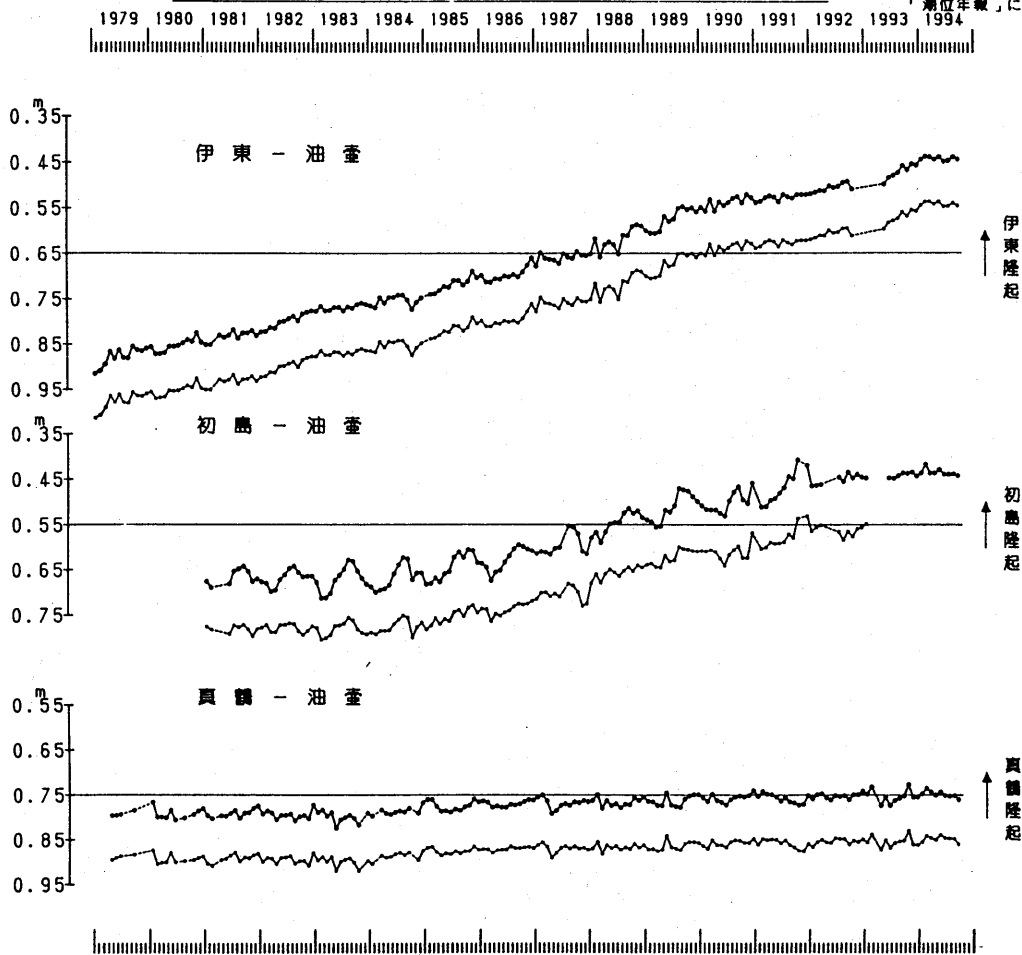
第7図-2 伊東地区GPS観測結果(比高)

Fig. 7-2 Continuous height change observation with GPS around Ito City.

最終データ 94/10/26

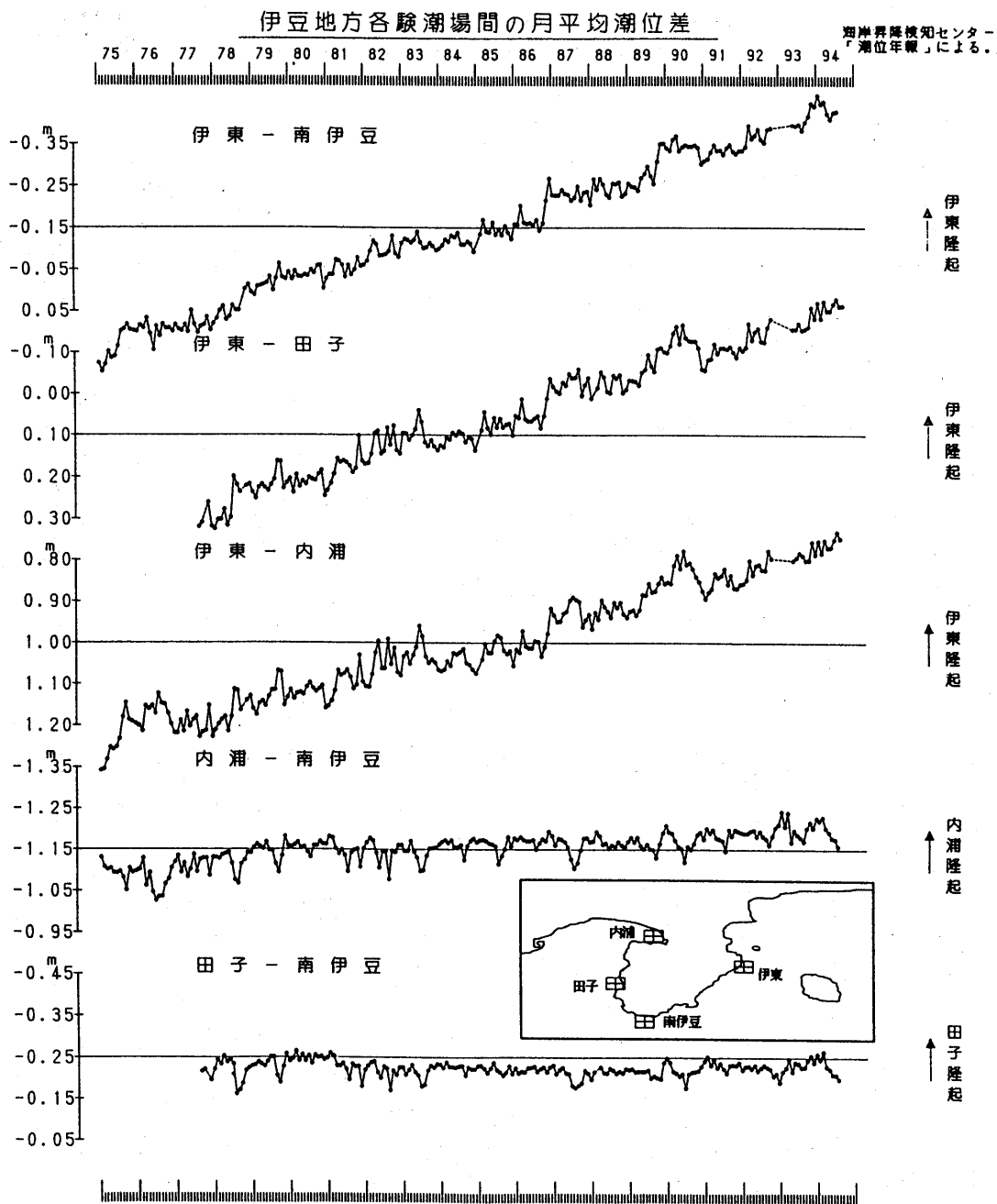
伊東・油壺・初島・真鶴各験潮場間の月平均潮位差

海岸昇降検知センター
「潮位年報」による。



第 8 図 伊東，油壺，初島，真鶴験潮場間の月平均潮位差

Fig. 8 Differences in monthly mean sea levels between the Ito, the Hatsusima, the Manazuru and the Aburatsubo tide station.

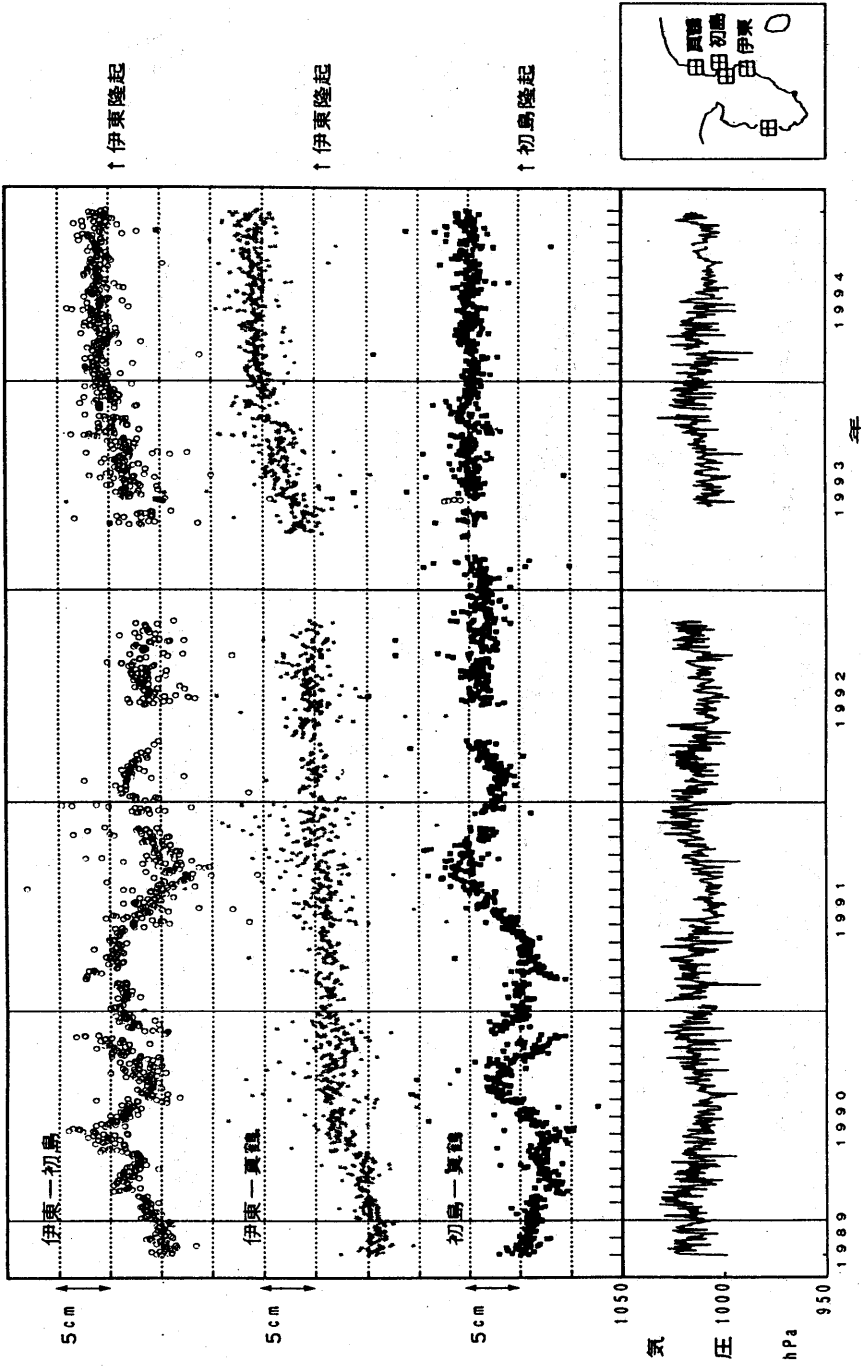


第 9 図 伊豆地方各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 9 Differences in monthly mean sea levels between the tide stations in the Izu district.

伊豆半島東部の潮位差 (日平均値)

[1989.11.01~1994.10.23]



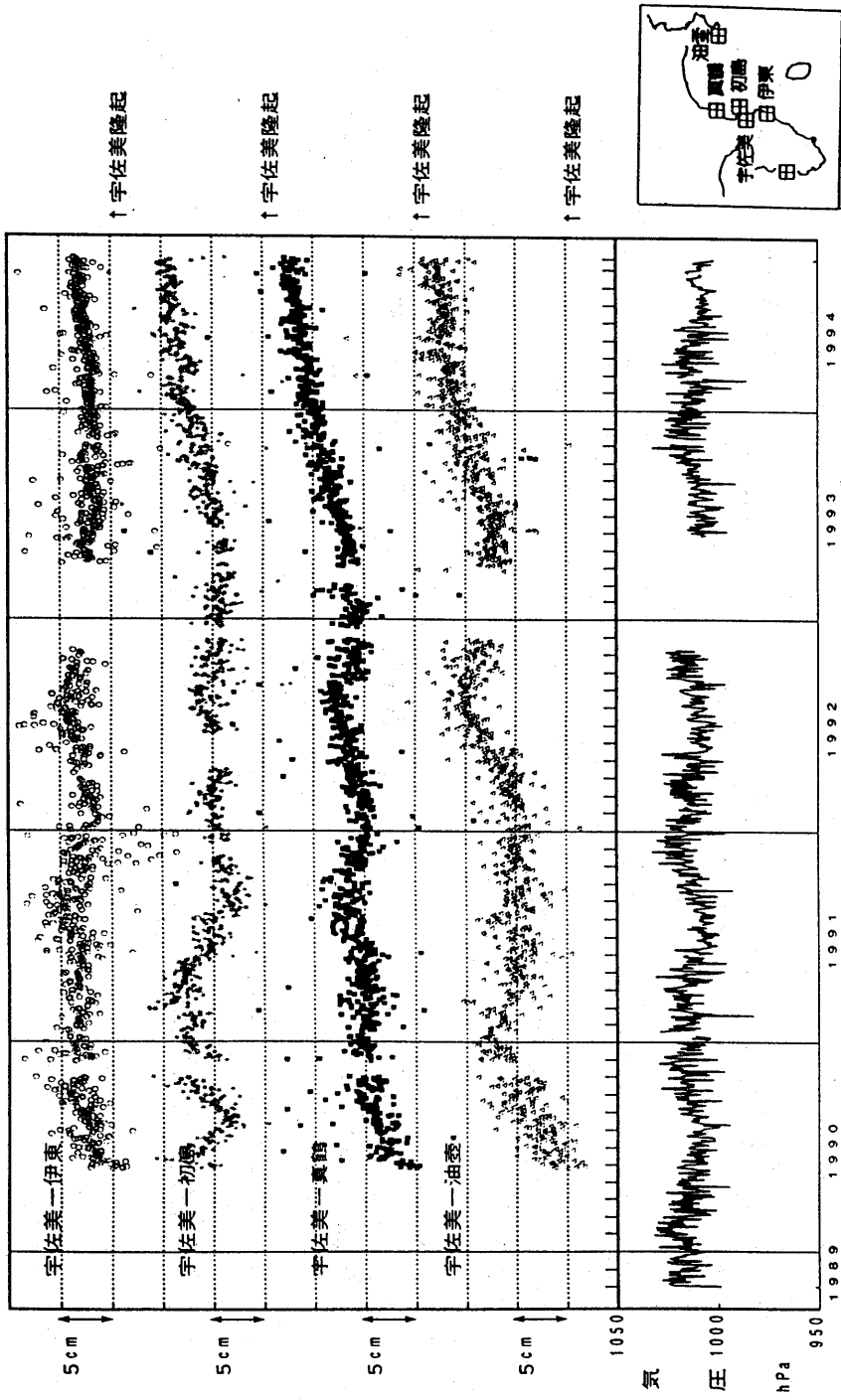
1993年5月 初島センサー交換

第10図 伊豆半島東部の潮位差 (日平均値)

Fig. 10 Differences in daily mean sea levels between the tide stations in the east part of the Izu district.

相模湾の潮位差 (日平均値)

[1989.11.01~1994.10.23]



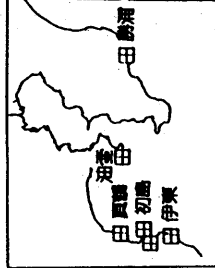
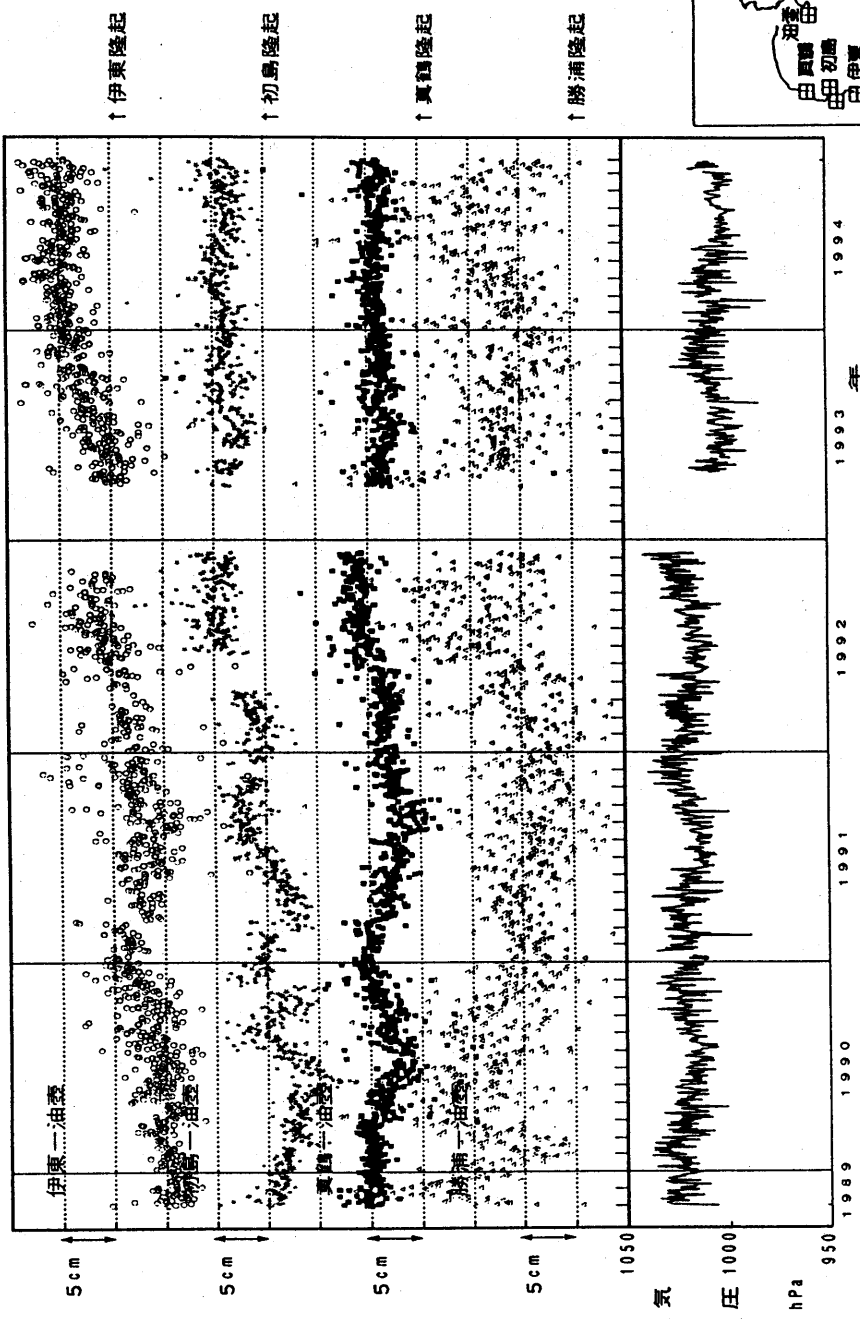
1993年5月初島センサー交換

第11図 相模湾の潮位差 (日平均値)

Fig.11 Differences in daily mean sea levels between the tide stations in the sagami bay area.

南関東の潮位差 (日平均値)

[1989.11.01~1994.10.23]



1993年5月 初島センサー交換

第12図 南関東の潮位差 (日平均値)

Fig.12 Differences in daily mean sea levels between the tide stations in the south part of the kanto district.